

# Tokyo-London Financial Seminar 2023

2023年2月2日(木) 英国・ロンドンからオンライン配信



フィンテック企業、資産運用業者の東京進出を後押しするため、  
日英における支援策、東京市場の魅力等を紹介するセミナーを開催します!

## セミナー概要



日時 2023年2月2日(木曜日) 午後6時30分から午後8時00分頃(日本時間・予定)

対象 国内外の資産運用業者、フィンテック関連企業、金融機関等

参加方法 会場開催及びオンライン配信のハイブリッド形式(日英同時通訳あり)  
会場: Mansion House(Walbrook,London EC4N 8BH) なお、会場聴講は招待制となります。  
オンライン: ZOOMによるウェビナー

申込期間 2022年12月21日(水) 午後7時から 2023年2月1日(水)  
午前8時59分まで(日本時間・予定) ※オンライン聴講のみ

お申し込みはこちらから▶

<https://financialsemi.metro.tokyo.lg.jp>



## プログラム



※日本時間

(敬称略)

18:30	開会挨拶・基調講演	シティ・オブ・ロンドン ロードメイヤー ニコラス・ライオンズ
18:38	主催者挨拶・基調講演	東京都知事 小池 百合子
18:46	講演1	前 駐日英国大使 ポール・マデン
18:54	講演2	金融庁 総合政策局 総合政策課長 高田 英樹
19:02	対談(ファイヤーサイド・チャット形式) テーマ: フィンテック	スピーカー BlueFire AI 最高経営責任者 ルーク・ワディントン 聞き手 IA Engine 責任者 ジリアン・ペインター
19:23	パネルディスカッション テーマ: 金融系外国企業の東京進出成功に向けて	パネリスト 英国国際通商省(DIT) 金融サービスチーム長 ヒュー・ドゥ・リュシオン FinCity.Tokyoアンバサダー ローラン・デュブス Tractable 株式会社 事業開発担当ディレクター パオロ・フェデーレ モデレーター JETROロンドン事務所 次長 崎重 雅英
19:54	閉会挨拶	シティ・オブ・ロンドン・コーポレーション 参事会員 アラスタ・キング

※上記の内容は現時点での予定であり、今後変更になることがあります。

主催



後援



お問い合わせ

Tokyo-London Financial Seminar 2023事務局

(株式会社フロンティアインターナショナル内)

E-mail: [info@tokyo-london-financialseminar2023.com](mailto:info@tokyo-london-financialseminar2023.com)

## 開会挨拶・基調講演

シティ・オブ・ロンドン ロードメイヤー

# ニコラス・ライオンズ

2022年11月、第694代ロードメイヤーに就任。

ケンブリッジ大学で歴史学を専攻した後、1982年にモルガン・ギャランティ・トラスト(現JPモルガン・チェース)に入社。その後、ソロン・ブラザーズやリーマン・ブラザーズにて、銀行や保険会社を対象に、合併・買収や資本調達に関するアドバイザー業務に従事。リーマン・ブラザーズでは、国際的な分野において指導的役割を担い、2003年退職。

現在は、FTSE 100 企業のフェニックス・グループ会長をはじめ、多くの金融機関や慈善団体の取締役・理事等を務めるなど、幅広く活動。



## 主催者挨拶・基調講演

東京都知事

# 小池 百合子

1976年10月 カイロ大学文学部社会学科卒業

1992年7月 参議院議員

1993年7月 衆議院議員

2003年9月 環境大臣

2004年9月 内閣府特命担当大臣(沖縄及び北方対策)兼任

2006年9月 内閣総理大臣補佐官(国家安全保障問題担当)

2007年7月 防衛大臣

2010年9月 自民党総務会長

2011年10月 予算委員会理事

2016年7月 東京都知事 当選

2020年7月 東京都知事 当選(2期目)



## 講演1

前 駐日英国大使

# ポール・マデン

CMG勲章受章者で、王立地理学会特別会員(FRGS)。日英の様々な企業で顧問を務めるとともに、慶應義塾大学では客員教授(国際関係論)として教鞭も執る。

これまで、駐日英国大使(2017~21年)をはじめ、駐オーストラリア高等弁務官(2011~15年)、駐シンガポール高等弁務官(2007~11年)、英国貿易投資総省(UKTI)のマネージング・ディレクター(MD)等に就任。現在は日英21世紀委員会委員も務める。ケンブリッジ大学、ダラム大学で学生時代を過ごし、東洋アフリカ研究大学院(SOAS)でも学んだ。近著に『Sankyū Japan』(2022年出版)がある。



## 講演2

金融庁 総合政策局 総合政策課長

# 高田 英樹

1995年に大蔵省(現:財務省)に入省。英国財務省への出向、内閣官

房国家戦略室や財務省大臣官房等での勤務を経て、2015~18年、OECD事務局にてグリーンファイナンスの推進に従事。帰国後は官民金融関係者等で構成された非公式ネットワーク「グリーンファイナンス・ネットワーク・ジャパン」を設立し、日本におけるグリーンファイナンス活動の強化に携わる。2022年から現職において、国際金融センター、サステナブルファイナンスを含め、金融庁の諸政策の推進を担当。

法学学士(東京大学)、法学修士(ケンブリッジ大学)、MBA(インペリアル・カレッジ・ロンドン)取得。



## 対談(ファイヤーサイド・チャット形式) フィンテック

スピーカー

BlueFire AI  
最高経営責任者

# ルーク・ワディントン



新技術やイノベーションの導入を通じた複雑なビジネスモデルの変革において、設計・実践双方の経験が豊富なシニアエグゼクティブである。長期金融市場に関する業務全般で広く実務を経験。基礎となる各種ビジネスモデルに関して、将来の持続可能な収益創出のための運用方法について造詣が深い。以前はBNPパリバでエレクトロニック・ビジネス&マーケットのグローバル部門長を務め、それ以前には、ロイヤルバンク・オブ・スコットランドのプライムブローカーレジFXトレーディング&エレクトロニック・マーケットの部門長として、東京に駐在。また東京ではHSBCのインターナショナル・オフィサーも務めており、日本語が堪能。

聞き手

IA Engine 責任者

# ジリアン・ペインター



英国投資協会(The Investment Association = IA)のメンバーシップとEngineプロジェクトの責任者として、IAエンタープライズマネジメントチームのシニアマネージャーを務めている。EngineはIAのイノベーション・ハブであり、フィンテック・アクセラレーターでもある。また現在、Engineは150以上のエコシステムやイノベータープログラムをはじめ、バーミンガムの地域コワーキングハブ、グローバル・パートナーズ・プログラムを網羅しており、同氏は2019年10月の立ち上げからその成長を担ってきた。Engineでは投資運用や富裕層に関するイノベーションと変革に焦点を当て、ソートリーダーシップやリソース、コネクティビティに関するプログラムを幅広く提供している。IT・通信業界の企業で技術・運用業務に従事した経験があることから、テクノロジー分野において豊富な知見を有する。

## パネルディスカッション

パネリスト

英国国際通商省(DIT)  
金融サービスチーム長

# ヒュー・ドウ・リュシオン



ヒューは5年前に官界に転じ、現在は国際通商省(DIT)の金融サービスチーム長として、資本市場や銀行、保険、フィンテックなどを含む、英国の主要な金融サービス業界の貿易と投資の拡大を担っている。2020年に現職に就く前は、日本などアジア太平洋地域からの対内資本投資を担当。官界に入る前は、シティ・オブ・ロンドンで35年のキャリアがあり、その中でナトゥエストやソシエテ・ジェネラルの幹部、LSE上場投資会社のCEOなどを務めた。ケンブリッジ大学で歴史学を専攻し、修士号(M.A.)を取得。

モデレーター

JETROロンドン事務所  
次長

# 崎重 雅英



2021年5月より現職。英国・北欧スタートアップの対日投資支援、日本企業と地域スタートアップ等とのオープンイノベーション促進などを担当。2000年にJETRO入籍、2009~14年にスリランカ・コロンボ事務所駐在。早稲田大学大学院政治学研究科修了。

## 金融系外国企業の東京進出成功に向けて

パネリスト

FinCity.Tokyoアンバサダー  
ローラン・デュプス



チェスマンハットン銀行やソシエテ・ジェネラル等、アジア、欧州で要職を歴任し、日本ではSMBC信託銀行の会長をはじめ、欧州系金融機関の日本ビジネスの第一線で活躍。2014年から21年10月まで、ナティクス日本証券のシニア・カンツリー・マネージャー、代表取締役社長、アジア太平洋地域エグゼクティブ・コミティのメンバー。外国系銀行の声を代表し、国際銀行協会(IBA)の活動にも深く関わっている。

パネリスト

Tractable 株式会社  
事業開発担当ディレクター

# パオロ・フェデーレ



パオロ・フェデーレは、ロンドンに本社を置くTractable社の事業開発担当ディレクターで、事故や災害からの復旧支援に画像認識AIを活用する部門の責任者を務める。また、東京海上日動と提携したAI技術の日本導入を通じて、同社の日本市場参入も担っている。現在、Tractable社にとって日本は2番目に大きな市場であり、Tractable社のAIは、数百万もの事故からの早期復旧に寄与している。

## 閉会挨拶

シティ・オブ・ロンドン・コーポレーション  
参事会員

# アラスタ・キング

2022年6月、シティ・オブ・ロンドンのシェリフに選出され、2022年9月28日に就任。

実務経験を経て1995年にシティで事務弁護士の資格を取得。大手国際法律事務所の「バーカー・マッケンジー」に入所し、ロンドンとアジアで弁護士業務に従事。2006年には自らファンドマネジメント会社を設立。現在はシティに拠点を置く金融サービス企業5社の取締役(うち4社で会長)を務めており、うち4社はFCA規制対象となっている。また、Naisbitt King Asset ManagementとNaisbitt Kingのオーナーでもある。

